

新大学構想会議設置要綱（案）

（設置）

第1条 大阪府（以下「府」という。）と大阪市（以下「市」という。）は、大阪府市統合本部（以下「統合本部」という。）における決定に基づき新大学構想会議（以下「構想会議」という。）を設置する。構想会議は大阪における公立大学の使命を明確にするとともにその将来ビジョンについて府市統合本部に提言する。

（審議事項）

第2条 構想会議の審議事項は、次のとおりとする。

- (1) 大阪における公立大学の将来ビジョンの取りまとめに関すること。
- (2) その他統合本部が指定する事項に関すること。

（組織）

第3条 構想会議は、座長及び委員をもって組織する。

- 2 委員は、別紙の特別顧問及び特別参与（以下「特別顧問等」という。）により構成する。
- 3 座長は、委員の互選によりこれを定める。

（会議）

第4条 座長は、会議を開催し、これを総理する。

- 2 座長は、必要があると認めるときは、府、市、公立大学法人大阪府立大学（以下「府大」という。）及び公立大学法人大阪市立大学（以下「市大」という。）の職員その他関係者の出席を求めることができる。
- 3 座長は必要があるときはワーキンググループを設置することができる。

（学識経験者等の助言）

第5条 座長は、必要があると認めるときは、審議事項に関する専門的事項について、委員以外の学識経験等を有する者の助言を得ることができる。

（守秘義務）

第6条 特別顧問等は府、市、府大、市大の職員との接触を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

（庶務）

第7条 構想会議の庶務は、府府民文化部及び市総務局が担う。

附則

この要綱は、平成24年 月 日から施行する。

(別 紙)

新大学構想会議 委員名簿

(五十音順)

上山 信一 (うえやま しんいち) 慶應義塾大学総合政策学部教授

大嶽 浩司 (おおたけ ひろし) 自治医科大学地域医療政策部門准教授

尾崎 敬則 (おさき たかのり) 尾崎総合法律事務所弁護士

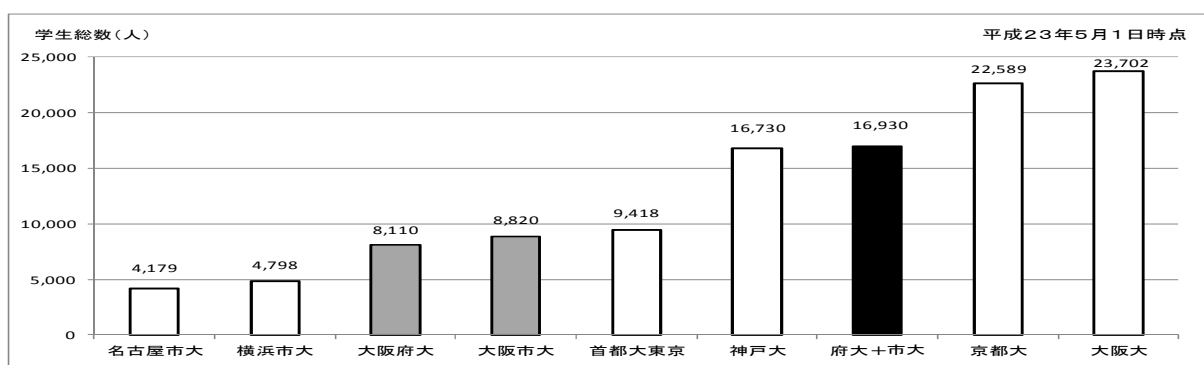
野村 正朗 (のむら まさあき) 公益財団法人 りそなヴァ・セニア財団理事長

矢田 俊文 (やだ としふみ) 公立大学法人 北九州市立大学前学長

吉川 富夫 (よしかわ とみお) 公立大学法人 県立広島大学経営情報学部教授

背景

- 世界的な都市間競争に打ち勝つ「強い大阪」を実現する成長戦略において、都市の重要な知的インフラである『大学』の活用は、不可欠な要素である
- 大阪にある二つの公立大学（府立大学・市立大学）を合わせれば全国最大規模の公立大学となり、両大学がこれまで培ってきたポテンシャルを十分に活かすことが大切



大学将来ビジョンの策定

外部の有識者からなる「新大学構想会議」を設置し、大阪における公立大学の使命を明確にするとともに将来ビジョンを取りまとめ、統合本部に提言をいただく

＜検討の視点(案)＞

○大阪の成長戦略への貢献

○公立大学らしさの追求

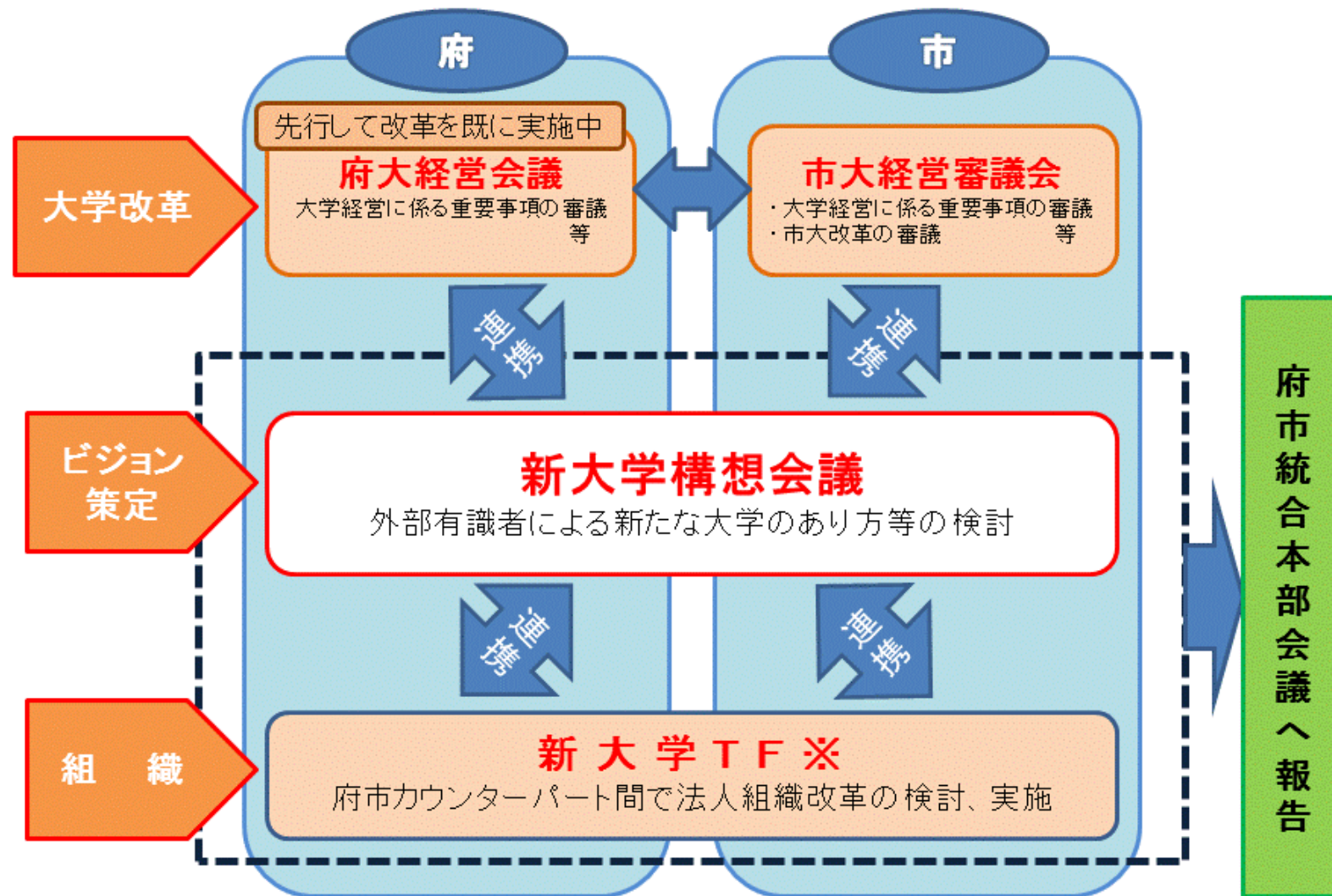
- (例)
- ・自治体との連携、都市政策への寄与
 - ・大阪の教育行政への貢献
 - ・実践的研究の推進

○両大学が培ってきた伝統と蓄積の活用

○学部再編など抜本的見直し

公立大学改革の「さきがけ」となる

新大学構想会議の位置付け



※将来ビジョン取りまとめの段階で、府大・市大教員参画のワーキング・グループを設置予定。

新大学構想会議スケジュール（案）

■今後のスケジュール（案）

	府市統合本部	新大学構想会議	府大・市大(大学)	府・市(行政)
5	5/29 構想会議の設置決定			
6		6/8 第1回会議(府大改革経過、市大改革プログラム説明、構想に当たっての基本的考え方の議論等)		
7		・市大学部ヒアリング(文系)		
8		・府大学部ヒアリング		
		・市大学部ヒアリング(理系)		
		・各界ヒアリング(企業関係者等)		
9		・行政担当者ヒアリング		9・10月 議会
10		・将来ビジョンの検討		
11	・府市統合本部会議	・将来ビジョン提言とりまとめ 将来ビジョン提言	・府大・市大の教員参画のワーキンググループの設置	
12			提言に基づく改革実施の検討	(府市戦略会議) ・提言に基づき将来ビジョン素案策定・公表 12月議会
1				・パブリックコメント実施
2				・将来ビジョン案策定・公表 2・3月議会 で将来ビジョン(案)を議論
3	・将来ビジョン決定・公表			・将来ビジョン策定

平成 24 年 5 月 29 日

府市統合本部会議発言概要（大学関係）

○橋下市長

・大学は人材養成機関の最たるもの。それを公立大学でしっかりやっていてもらいたい。慶応大学の湘南キャンパス（SFC）のように最初は何をするのかわからなかったが、何年後かには軸になっているというものに、是非チャレンジしてやっていただきたい。SFC の教授の方に勉強会に来ていただくと、厳しい競争にさらされて、先生方はみんな大変だと言っておられる。そういう大学にしていてもらいたい。

・シリコンバレーも 3～40 年かけながら集積したというぐらいのスパン。それには普通の総合大学的なものではなく、SFC のような強力な個性、特徴のある大学を参考にしてもらいたい。

○上山特別顧問

・府市大学統合は合理化ということではなく、十年、二十年先を見据え、大阪の成長戦略の非常に大きな柱として位置付けたい。今回の大学改革で魅力的な大学が創れば、全国から新しいことをやりたい人が大阪に来てくれてそのまま居ついてくれる。先端研究やノーベル賞というのは、国立大学でいいのであって、強い大阪、大阪成長のエンジンと成りうる人材を集め育てていく大学をめざすことが今回の柱である。

・スタンフォードや SFC は参考にはなるが、同じことをするわけではない。箱を造っても先生がついてくれないと成り立たない。とてもよくできる先生の流出を防ぎながら大学改革を行うことが難しいし、時間もかかる。

○堺屋特別顧問

・国立、私立含め、大阪の知的レベルの向上戦略の一つの柱に府市統合後の大学を位置付ければより良いのでは。

○余語特別顧問

・大学は産業政策と密接に結びついている。例えばシリコンバレーは、スタンフォード大学と表裏一体。大学政策は、高度な専門教育であり、そういうものは成長戦略の一つの鍵となる。

知事発言概要

- 教育しか資源が無いなか、教育の資質の向上のため、府大市大統合の際に新しい学部として教育学部の設置を府市統合本部で検討したい。統合にあたり重複学部を再編することで人件費等経費削減を図り、この新しい学部投資していきたい。（23年12月2日 知事囲み取材）
- 統合後の大学における教育学部の中身については、今後専門家を交えて議論していきたいと考えている。（23年12月6日 知事囲み取材）
- 市立大学との統合については、それぞれの強みを活かすことにより、大阪の成長戦略を支えるハイエンド人材の育成や、さらに高度な研究開発が可能となるなど、日本を代表するような大学、アジアでも強い大学になるものと考えている。（24年2月27日 府議会代表質問）
- まず法人を一元化しそれぞれのいいところを取り込み、学生にしっかりと知識とサービスを提供できる形になるのが一番。工学部の強い府大と、医学部のある市大がそれぞれの強い部分でどう連携していくか、これが大阪の経済、産業につながる。医療機器等で新しいものが発明されるなど大きな期待を持っている。（24年4月11日 記者会見）

市長発言概要

- 統合については、専門的知識を持つ方々で複数案をつくって判断する。統合のメリットは、府と市の交付金をひとつにし、学部を再編して最大の投資効果を生み出すこと。アジアの大学間競争に打ち勝てる大学にしておくために、学部再編で強みを出す。（23年12月22日 市長囲み取材）
- 市大が勢いを失いつつあるのは、学長が世の流れを見て適切に人事を行えないから。学長のマネジメントを阻害しているのが教授会であり、これを徹底的に改革していく。（24年3月2日 市会代表質問）
- 教育学部の設置は大きな目玉策になると思う。今、大阪教育大学が大阪の教員養成機関としてあるが、それとは別に、公立大学で地域の教員を養成することは非常に重要な意義がある。（24年3月9日 財政総務委員会）
- 市大では、教授会による運営をなくし、組織で一番肝心であるマネジメント改革にしっかりと取り組んでいただきたい。元々ポテンシャルの高い市大が、世界に誇れる大学となるように、変えていってほしい。
（24年5月11日 市大経営審議会 冒頭あいさつ）